

いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

「いのちの授業」

氷見市立久目小学校

平成26年9月22日実施

【いのちの先生】

干場 雅勝先生

・氷見市民生委員副会長

【授業の概要】

- 1 いのちはどうしてできたのか
- 2 自分らしく生きること
- 3 かけがえのないいのち
- 4 将来どんな人と歩いていくのか

「いのちの授業」風景

氷見市立久目小学校

<児童の感想>

①

いのちの授業を聞いて、思っていたよりも、もっともっといのちは大切なものなんだということがわかりました。自分や友だちのことを大切にしようと思いました。自分のいのちをもっと大切にしようと思ったことをメッセージに書いておぼあちゃんに教えてあげました。

②

いのちの授業を聞いて、いのちが大事なことがわかりました。これからは、いのちを大事にしていきたいと思います。今、生活科でダイコンとホウレンソウを育てています。この野菜にもいのちがあるんだということがわかりました。



「いのちは、一人一人に一つしかないかけがえのないものです。」

<いのちのメッセージカード>

(児童の感想)

お仕事や家事をがんばってくれてありがとう。仕事をしているお母さんがかっこいいと思うし、お母さんの作るごはんはすごくおいしく、洗たくものをたたむのが速くてすごいなと思います。私は、これからもお手伝いをするので、仕事や家事をがんばってね。

(保護者より)

〇〇の成長を心からうれしくて、周りの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。あなたが今まで出会ったたくさんの人々が、あなたの成長に関わっています。これから先もたくさんのお会いがあるでしょう。一人一人が大切な出会いです。自分を大切に、そして出会う周りの方たちも大切にしてください。あなたらしく笑顔でいてください。



「ぼくらのいのち、みんなのいのち。大切ないのちに感謝しよう。」